

▼ガドピスト静注シリンジ [注]

【重要度】★★★

★★★ 【一般製剤名】ガドブトロール gadobutrol 【分類】MRI 用造影剤

【単位】▼5mL・▼7.5mL・▼10mL/Syr [1.0mol/L]

【常用量】0.1mL/kg を静注

【透析患者への投与方法】重篤な腎障害のある患者では排せ遅延と腎機能悪化のため原則禁忌 (1) NSF のリスクから他の検査法で代替が望ましい (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】重篤な腎障害のある患者では排せ遅延と腎機能悪化のため原則禁忌 (1) eGFR 30mL/min/1.73m² 未満, AKI の患者では NSF のリスクから他の検査法で代替が望ましい (1)

【その他の報告】腎機能低下により排せが遅延する (Tombach B, et al: Invest Radiol 35: 35-40, 2000 PMID: 10639034)

【特徴】ガドリニウム造影剤。キレート性が高く、体内でのガドリニウムの遊離が少ないとされる。

【主な副作用・毒性】ショック, アナフィラキシー, 痙攣発作, NSF, 蕁麻疹, 潮紅, 頭痛, 嘔吐, 血圧上昇, 頻脈, 熱感, 血管浮腫, かゆみ, めまい, 結膜炎, 味覚異常, 動悸, 気管支痙攣, 呼吸困難, 胸痛, 倦怠感など

【安全性に関する情報】1mol/L [157.2 mg/mL] 製剤の 3mL/kg は腎毒性を認めなかった (Kalinowski M, et al: Radiology 244: 457-63, 2007 PMID: 17562809)

【代謝】代謝されない (1)

【排せ】尿中未変化体排せ率 90%以上 [糸球体ろ過による] (1) Ccr 30mL/min/1.73m² 以上の患者では投与後 72hr までに尿中排せが完了, Ccr 30mL/min/1.73m² 未満の患者では投与後 5 日までに 80%が尿中に回収 (1)【CL】1.63~1.78mL/min/kg (1) 腎 CL は Ccr と同程度 (1) Ccr 30~80mL/min/1.73m² : 0.49mL/min/1.73m², Ccr 30mL/min/1.73m² 未満 : 0.16mL/min/kg (1)【t1/2】1.8hr (1) Ccr 30~80mL/min/1.73m² : 5.8hr, Ccr 30mL/min/1.73m² 未満 : 17.6hr (1) 健常人 1.5hr, Ccr 30~80mL/min で 5~7hr, Ccr 30mL/min 未満で 18~20hr に延長 (Tombach B, et al: Invest Radiol 35: 35-40, 2000 PMID: 10639034)

【蛋白結合率】結合しない (1)

【Vd】0.2L/kg (1)

【MW】604.71

【透析性】3 回の HD により 98%が血清中より除去 (1)

【OW 係数】LogP=-5.4 [1-オクタノール/水系] (1)

【小児における報告】成人と同様に使用できる (Hahn G, et al: Invest Radiol 44: 776-83, 2009 PMID: 19858730, Kunze C, et al: Invest Radiol 51: 50-7, 2016 PMID: 26340504)

【更新日】20180410

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。